

”150以上”の自治体で採用
導入しやすく、続けやすい
「ごみ分別アプリ」

「ごみスケ」 自治体導入事例集

2025年版

- ✔ 導入やサービス決定の決め手は？
- ✔ 導入してみて、実際どうだった？ などなど

導入自治体の担当者さんが語る「リアルな声」が満載！

目次



- 01 こんなお悩みありませんか？
- 02 導入自治体事例集
- 03 ごみ分別アプリ導入スケジュール例
- 04 導入自治体から検討自治体へのアドバイス
- 05 さいごに

ごみの収集に関する周知をしなきゃ…でも…

こんなお悩みありませんか？

幅広い年代の人にアプリ使ってもらえるかな…？

アプリの導入は大変そう…

アプリを使いこなせるか不安

外国人への周知はどうしたらいい？

➡ そのお悩み、導入自治体事例で解決します！

西日本



木津川市ごみ分別アプリ
(英・中・韓・ベトナム語対応)



近年は災害も多く、 より迅速に情報を届けたいと考えていました

京都府木津川市 世帯数約3.3万 担当部署：環境課
「木津川市ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- ごみ収集などに急な変更があった際、市民の方へお知らせする手段が少なかったということがありました。
- メールサービスも行っていますが登録者数が伸びず、周知が難しいと感じていました。
- 近年は災害も多く、より迅速に情報を届けたいと考えていました。

アプリ導入後の効果

- アプリのプッシュ通知を利用すれば市民の方の手元まで情報を届けることができるので、大きなメリットだと感じています。
- 外国の方からも好評いただいているかなと思います。ごみ出しに関する説明が簡略化されて、「アプリをインストールしてください」の一言で済むようになりました。
- オプションでLINE連携を導入しました。ごみスケの内容をLINEでも表示できるので、データの二重管理をしなくてもいいというメリットが大きかったですね。

今後の展開

万が一の大規模災害があった際、仮設収集場所などの情報をアプリを通じて発信できたらと思います。アプリならではの”即時性”を最大限活用していきたいです。最近考えているのは、大規模言語モデルやaiで翻訳ができるようになってきたので、プッシュ通知のお知らせの文章作成に取り入れていきたいなというところです。どの機能を使って取り入れたらいいかは手探りですが、今後外国語対応はもっと充実できるのではないかなと思っています。

西日本



奈良市ごみ分別アプリ

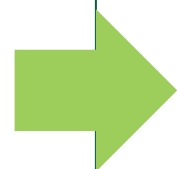


想定していた年齢層だけでなく、 幅広い方が活用

奈良県奈良市 世帯数約16.5万 担当部署：廃棄物対策課
「奈良市ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- 紙媒体のごみカレンダーを発行し、様々な形でごみに対するの関心を広めていこうと試みていました。しかし、読まずに捨てられてしまったりと特に若年層や単身赴任者などに対してもっとごみに関して関心を持ってほしいと悩んでいました。
- 費用感や機能性の高さに加え、若年層をターゲットにしたゲーム機能の対応が可能だったことが導入の大きな決め手になりました。



アプリ導入後の効果

- 想定していた年齢層だけでなく、幅広い市民がアプリを活用しています。
- パッカー車の火災があった際、即日お知らせを発信しました。即時通知ができるというのは非常に大きいですね。
- カスタマイズをして、「お知らせに写真を載せられる」「地域限定発信ができる」ようになったので、配信内容の幅が広がったり、台風で収集を振り替えさせていただくケースもあるのですが、その該当エリアのみに発信できるようになって非常に便利です。
- 電話問い合わせが減り、メールによる問い合わせが増えたことで、職員の業務効率が向上しました。
- 利用者からは「便利だ」という声が多く聞かれ、便利さを実感することでダウンロード数も安定して伸びています。

今後の展開

お知らせプッシュ機能をもっと使い、市民の皆さまへタイムリーな情報を届けていきたいです。また、DXやAI活用という話はよく出ています。紙媒体については、減らすというよりは最終的になくしていけたらなという思いはあります。人が減っていく中で、より効率的に情報を届けようというところでアプリを導入するのはいいことかなと思っています。

西日本



野洲 ごみ分別アプリ



情報の追加や修正が簡単にでき、 業務も効率化

滋賀県野洲市 世帯数約2.2万 担当部署：環境課
「野洲 ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- ごみカレンダーやごみ分別辞典は持ち運びしにくく、紛失されることもあることが課題でした。
- 情報の追加や修正が簡単にできるのもアプリ導入のきっかけの1つです。
- 他の自治体も使っておられて、アプリの業界におけるシェアと実績がありましたので、導入する決め手になりました。

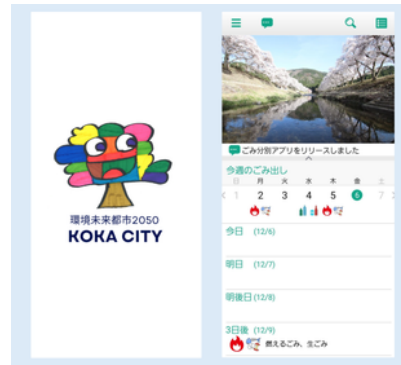


アプリ導入後の効果

- あってよかったなという機能は、お知らせ機能です。追加情報を容易に反映できるというのが強みなのかなと思いました。
- 運用する側からすると、非常に効率化が優れていると。利用される方からみると、やはり手元で確認できるということで利便性が向上したという風に思います。
- 外国人の方に向けては、ごみ分別アプリにPDFで掲載しているカレンダーに4か国語版が載っています。伝え方としてももう一ついいなと思っているのは、ごみの種類がユニバーサルデザイン化されていること。これって割と言葉とか文字関係なしで、見た目でも理解しやすいですね。

今後の展開

一回インストールしたら情報が更新されていきますよね。そうなってくると、紙がなくても情報を確認できるようになります。このあたりが徹底されれば、ペーパーレス化が図れるということは、地球環境に優しいという繋がっていく。そういう意味でごみ分別アプリのダウンロード数が増え、将来的に紙のカレンダーやごみ分別辞典の発行が減っていけば、紙を使わないという、究極の目指すところにも近付けるというのが展望です。



デジタルの利点を活かして、 ごみに関する情報発信の課題を解決

滋賀県甲賀市 世帯数約3.8万 担当部署：生活環境課
「こうか ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- 修正をタイムリーに変更できないというのが課題としてありました。
- アプリの選択は、「アプリをオフラインで 사용할 ことができる」というところは大きなテーマになっていました。また、「プッシュ通知が収集地区ごとにできる」、「ごみの出し方や発信するアプリの情報をいつでもインターネット環境下で、パソコンで更新可能で、データをxlsx形式でインポートすることもできる」というところが決め手だということ聞いていますね。

アプリ導入後の効果

- 修正をタイムリーに変更できないというのが課題としてあったので、それがパソコンですぐに変更できたりするというのは、課題解決できる方法になったかなと思います。
- 自分の地区をはじめに選んだら、もうその地域のカレンダーしか出てこないという風になるのが、ぱっと見て分かるのですごく便利な機能だと思っています。
- 住民のみなさんの反応も上々。導入後の修正も迅速に対応が可能になりました。
- 出前講座のチラシ配布で、高齢の方にも周知しています。

今後の展開

お知らせ等を今後定期的に発信していきたい、有効に使っていききたいと考えています。ダウンロードとか、ちゃんと使ってもらう人を増やしていきたいなと思っています。あとは、どこまでできるか分からないのですが、外国語の対応等もやっていけたらと思います。



紙冊子は簡略化してアプリは詳細に！ 紙とアプリの賢い使い分けを目指す

岩手県一関地区広域行政組合 世帯数約4.8万 担当部署：一関清掃センター
「一関・平泉ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- ごみの排出量削減がなかなか進まないという現状課題がありました。
- 住民にごみの分別や減量について周知したいと考えていたのですが、若年層や外国人、特に英語圏の方にも利用できる方向性を目指しました。さらに転入者の方にも分かりやすいシステム作りが必要だと考えていました。
- ごみスケ導入の決め手は、導入時に導入費用が比較的安価であったこと、他の自治体での導入事例が多く、事前に課題を知ることができたこと、そしてサポートが手厚かったことが大きかったです。

アプリ導入後の効果

- アプリだと随時更新できてスピーディーに対応できるのが大きなメリットです。ごみ収集カレンダーの更新も便利です。一度アプリをインストールすれば、ユーザー側は何もしなくても運営側で年度分を一気に更新できるので、利用者は常に最新のカレンダーを見ることができます。
- 「便利だ」というユーザーの声や、分別辞典に載っていない品目について意見が出ることは、ユーザーが普段からアプリを利用してくれている証拠だと捉えています。
- 外国語版は、スマホのシステム言語を使って表示されるので、登録された言語を利用している方にとっては大変便利だと思います。立ち上げた時点からその言語で全テキストが表示されるので、利用しやすいですね。

今後の展開

将来的にはごみ分別アプリの利用者が増加して一般化することで、冊子版の周知媒体から分別アプリが主体という選択肢になればと期待しています。アプリであれば分別辞典の品目を際限なく増やせるので、細かければ細かいほどユーザーにとっては検索でヒットしやすくなると思います。テキストは分かりやすく簡略化して細かく調べたい場合はアプリを利用。という様にそれぞれのニーズに合った形でごみ分別情報を提供できればと考えています。



塩尻資源物・ごみ分別アプリ



り



市民の「困った」を解決し、職員の「負担」を軽減！「ごみスケ」がもたらす効率化と利便性

長野県塩尻市 世帯数約2.9万 担当部署：生活環境課
「塩尻資源物・ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- ごみ分別について紙媒体と職員の知識のみで案内していました。そのため、年度によって案内内容が変わってしまったり、職員によって案内に差が出たりすることが課題でした。
- 多くの自治体での運用実績があったこともごみスケ導入の大きな決め手となりました。専用アプリが導入できたのは非常に分かりやすく素晴らしいと感じています。



アプリ導入後の効果

- 市民の皆さんからは「分別辞典」が好評なのはもちろんのこと、「アラート機能」の通知が来ることで、ごみ出しを忘れることがなくなったという声をよくいただいています。
- 市職員にとっても「お知らせ機能」のプッシュ通知が、様々な施策の周知に活用できると好評です。
- 電話での問い合わせがあれば、アプリを見て答える形になっています。案内が均質化され、どの職員でも同じ回答ができるようになりました。
- 外国人の方に分かりやすいように紙一枚のPDFをメニューに追加しています。このPDFを見ればごみ出しの日程などが簡単に分かるようにしています。

今後の展開

今後も問い合わせのある品目をどんどん増やし、説明を充実させて、より多くの市民の方に利用していただければと考えています。また、通知機能もあるので、情報発信媒体としてもさらに活用していきたいです。



導入から10年で10万ダウンロードを突破！ 川越市に聞く「ごみスケ」活用成功の秘訣



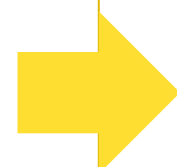
川越市ごみ分別アプリ



埼玉県川越市 世帯数約17万 担当部署：資源循環推進課
「川越市ごみ分別アプリ」

課題と導入のきっかけ

- ごみの分別方法や収集日などの問い合わせを電話でいただくことが多かったです。
- 広報誌での情報発信だと届けるのに時間がかかってしまうということがあります。



アプリ導入後の効果

- スマートフォン一つでいつでもどこでもごみの分別方法や回収日を確認することができるという点をととても評価しています。
必要な情報が一元化されている点や、時間指定で「ごみの出し忘れ防止アラート」がされるという機能も、とてもいいなと感じていますね。
- ごみスケですべて確認することができるので、平日の問い合わせ件数が減ってきているなという所感があります。
- アプリがあれば、相手に即日で情報が届くメリットがある点も利点だと思います。

今後の展開

外国人の方にも活用していただきたいです。外国人の方のごみの出し方に関するお問い合わせが結構来ているので、今後ごみスケを使って外国人の方にもごみの出し方を簡単に理解していただけるようになっていければなという風に思っています。加えて、高齢者の方にもごみスケを使ってもらえるよう、より一層幅広い層で利用者拡大を目指していきたいです。

導入自治体から検討自治体へのアドバイス



アプリに移行できていけば、そんなに使い方も難しくなく、便利なものだと思うので、
どんどん使っていくのがいいのかなと思いますね。



実際に使っている自治体の意見を聞かれるのが一番早いかなと思います。
導入するきっかけの1つというのがやはり、ほかの自治体さんが使っておられるし、シェアがある、
実績があるということでした。



導入時には、作業が大変なんじゃないかとかなり心配してたのですが、データをお渡ししたら導入のところは、
全面的にどんどんやってくれたので助かりました。担当課としては、その後のチェック作業を行いました。導入
に関しては、全然問題なくスムーズに行けた感じだったので、ちょっと安心しました。



人が減っていく中で、より効率的に情報を届けようというところで導入するのはいいことかなと思っています。



メンテナンスは運営側で行うので、あらかじめ計画的に整理して対応していくことが必要です。
あと、システムのできることとできないことが必ず出てくるので、導入時点で確認し、できることの中で
運用を考えていくことが大切です。

※本ページの内容は、当社Webサイト掲載の「導入事例インタビュー」より抜粋・再構成したものです。

導入までの流れ 【約3カ月で導入可能】

STEP1

打ち合わせ (1~2週間)



訪問またはWEBにて現状のごみ分別ルールや周知されたいことをヒアリングします。
アプリに関してご不明な点や、こんなことはできるのかなどお気軽にお尋ねください。

STEP2

導入データ ご準備 & ご提供 (1か月~)



打ち合わせ内容をもとに、準備いただきたいデータをお伝えさせていただきます。
パンフレット作成時のデータ等をもとに、最新版をご準備後、弊社担当にお渡しください。

STEP3

アプリ構築 ストア申請/公開 (1~2カ月)



弊社でアプリ構築を行います。内容を確認いただき、ストア申請をしたら公開準備完了です。
公開後も、保守・サポートを行いますのでご安心ください。

※状況により、導入期間が前後いたします。詳しくはお問合せください。



会社概要

会社名： 株式会社G-Place(読み：ジープレイス)

代表： 代表取締役 綾部 英寿

創業： 1968年5月7日

所在地： 【東日本】
〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町3-26
浜町京都ビル3F

【西日本】
〒532-0003 大阪府大阪市淀川区宮原4-1-14
住友生命新大阪北ビル13F

＼ ごみ分別アプリに関心のある自治体の皆さま /

お気軽にお問い合わせください



ごみ分別アプリ「ごみスケ」は、

- ・各自治体ごとの独自アプリであること
- ・導入のしやすさ
- ・操作性の良さ

等を評価いただき、全国150以上の自治体で導入されています。

今回ご紹介した自治体以外にも、類似自治体での導入事例もお伝えできますのでぜひお気軽にお問い合わせください。



東日本：03-3663-8745
西日本：06-6210-6666



kssp@g-place.co.jp